



from KAWASAKI
川崎

そば打ちの手ほどきを受ける参加者

地元の産物で体験交流

「イチゴ狩りとそば打ち体験」を開催

道の駅「かわさき」のグリーンツーリズム事業「イチゴ狩りとそば打ち体験」は3月25日、市内外から家族連れなど45人が参加して催されました。

「イチゴ狩り」の後、川崎公民館での「そば打ち体験」には31人が参加し、広長千鶴子さん＝川崎町薄衣＝を講師に5人一组で奮闘しました。いよいよそばを切る段階になると参加者は緊張した面持ちで包丁を握りました。なかなかお手本のように細く切ることは難しかったようですが、打ちたてのそばをその場ですぐにゆで上げて試食すると「おいしい」と顔をほころばせ、そば打ちを満喫した様子でした。



from ICHINOSEKI
一関

やり取りを楽しみながら買い物をする朝市ファン

29人が新鮮野菜など出品

日曜朝市23年目のオープン

23年目を迎えた恒例の日曜朝市(同実行委員会主催)は4月1日、一関文化センター西側広場で始まりしました。午前5時から行われたセレモニーでは、小岩キヨ子実行委員長らのあいさつに続き、来場者全員が缶コーヒーで乾杯しオープンを祝いました。

新鮮な野菜や果物のほか、手作りの漬物などが並ぶ会場には、オープンを待ちかねた朝市ファンが夜明け前から詰めかけ、生産者とのやり取りを楽しみながらお目当ての品を買い求めていました。

朝市は、一関地方産業まつり農業祭当日を除く、12月までの毎週日曜日に行われます。



from SENJIMAYA
千厩

学校生活や一関の様子を訪問先の学校で堂々と発表

一生忘れない大切な思い出

室中生がノースカロライナ州へ

室根地域の中学生海外派遣事業は3月14日から24日までの日程で行われ、4人が米国ノースカロライナ州ダーラム、ローリー、ニューヨークの各市を訪れました。

参加したのは、室根中学校の小野寺優佑君(2年)、小岩希未君(1年)、富原智華さん(同)、遠藤優子さん(同)。

現地のホストファミリーとの交流や統導した外国語指導助手のアンソニー・グレゴリーさん一家との触れ合い、学校訪問による相互の学習体験や施設見学などを行いました。

参加した生徒たちは、すべてが初めて体験することばかり。戸惑いもありましたが、外国の日常生活や自然に直接触れて、異文化に対する理解を深め、思い出深い体験となりました。



from MURONE
室根

現地の学校を訪れ日本舞踊を教えました

大きな夢でジャンプ!

中学生海外派遣でロサンゼルスへ

花泉中学校2年生8人は3月15日から27日まで、花泉地域中学生海外派遣事業により米国ロサンゼルスで外国の文化を体験しました。

8人はホストファミリー宅にホームステイをしながら、英会話の授業、ロサンゼルス市内の見学、本場のディズニーランド訪問など、さまざまな場面で戸惑いながらも文化の違いを肌で感じ学びとりました。「さよならパーティ」では、法被姿で「よさこいソーラン」を披露し日本を紹介。ホストファミリーへの感謝の手紙に思わず涙したことなど、一生の宝となる思い出を胸に帰国。田野崎地域自治会長への報告会で8人は、「自分自身が変わってきた」「違った文化のそれぞれの良さを認め、これからも大切にしていきたい」「さらに英語を勉強してまた行きたい」など、自信に満ちた様子で力強く語りました。



from HANAZUMI
花泉

英会話教室でダイアン先生とジェスチャーゲーム

異文化に触れた貴重な体験

「若駒の翼」でマーシュフィールドへ

千厩地域中学生海外派遣「若駒の翼」事業と県立千厩高校海外派遣事業の参加生徒各6人は3月23日から31日まで、米国マサチューセッツ州マーシュフィールド町を訪問しました。参加した生徒たちはホームステイをしながら、それぞれ現地の中学校や高校へ通学。授業では、当市の環境への取り組みや一関市内の様子、学校生活などを、コンピューターを使い英語で発表。たくさんの質問を受けて、文化や習慣の違いを確認し合い、相互理解と交流を深めました。

参加した千葉祐介君(千厩中2年)と三浦秀敏君(千厩高2年)は「英語で話すことは難しかったが、自分の言いたいことが通じた時はとてもうれしかった。研修で得たものを友達に伝えたい」「異文化に肌で触れる貴重な体験をした。進路などに生かしていきたい」と語っていました。

新たな学びやに誓う

大原中学校で入校式

大原字上ノ洞から同字大明神の旧大東高校大原校舎に移転した大原中学校の入校式は4月6日、行われました。式では生徒会長の小山和貴君(3年)が125人の生徒を代表し、「新しい歴史をつくることを誇りに感じ、よりよい学校を目指したい」と新たな学校生活を前に決意を述べました。

大原中学校は昭和44年、大原地区と曾慶地区の一部の学区が統合して開校し、学力向上や部活動に大きな成果を上げてきました。近年は校舎や体育館の老朽化が進んだことから、県教育委員会と協議し、4月から移転することになったものです。



生徒を代表して決意を述べる小山和貴君

from DAIDO
大東

今日からマジシャン!?

マジックショー&手品教室

東山図書館主催のマジックショー&簡単手品教室は3月22日、東山公民館で行われました。教室は、北上アマチュアマジッククラブの横澤信夫さん＝北上市＝を講師に、小学生から大人まで80人が参加しました。長いひもや新聞紙など身近な材料で横澤さんがマジックを披露すると「おおっ!」とみんな身を乗り出してびっくり。その後種明かしをしてもらいながら手順を教えられ、友だち同士で夢中になり練習していました。

最後に横澤さんは「楽しいな、とか不思議だな、と思う気持ちは世界共通です。マジックを通して世界中の人と友だちになってください」と話しました。



長いひもを手でマジックの練習をする参加者

from HIGASHIYAMA
東山